



平和聖日講演会のご案内



本田哲郎神父による講演

「平和を脅かされている今、信仰者はどう生きるべきか？」

日時：2018年8月12日（日）午後1時～3時

場所：地階集会室

主催：神戸栄光教会 社会委員会

「隣人愛」とは、抑圧され小さくされている人の「隣人になること」

イエスはつぎのように語った。「ある人がエルサレムからエリコに下っていくときに、追いはぎにあった。追いはぎはこの人の服をはぎとり、傷をおわせ、半殺しにして去った。たまたま、一人の祭司が同じ道を下ってきたが、その人を見ると、道の反対側をとおって行った。同じように一人のレビ人もその場所にさしかかったが、その人を見て、道の反対側をとおって行った。ところが、旅をしていた一人のサマリア人は、同じようにそこにさしかかると、その人を見て、はらわたをつき動かされ、近よって、傷口にぶどう酒とオリーブ油をそそいで包帯をし、自分のろばにのせて宿屋につれていって、介抱した。そして、つぎの日、五千円の銀貨二枚をとりだし、宿屋の主人にわたして、『この人を介抱して下さい、もし費用がかさんたら、帰りに私が払います』と言った。ところで、この3人のうち、追いはぎにあった人の隣人になったのは、だれだとあなたは思うのか。すると律法の専門家は、「その人の痛みを分かって、行動に移した人」と言った。そこで、イエスは、「あなたも行って、同じようにしなさい」と言った。

『小さくされた人々のための福音』ルカ福音書 10章29節～37節 本田哲郎訳

本田哲郎神父のプロフィール

1942年生まれ、65年上智大学卒、フランシスコ会に入会、71年司祭叙階
72年上智大学神学部博士課程修了、78年ローマ教皇庁立聖書研究所卒
68年大阪釜ヶ崎にて日雇労働者に学びつつ聖書を読み直し、「釜ヶ崎反失業連絡会」などの活動にも取り組む。
著書に『釜ヶ崎と福音』、『聖書を発見する』（岩波書店）『小さくされた者の側に立つ神』、『続・小さくされた者の側に立つ神』（新世社）
聖書の個人訳に『小さくされた人々のための福音』、『パウロの書簡』（新世社）
その他多数。